

高病原性鳥インフルエンザ発生の経過と新富町の防疫対応

○発生農場 新富町大字三納代北原牧 3015 番地 13
採卵鶏農場

○殺処分羽数 400,944 羽

月日	対 応 事 項	月日	町長の対応
1.21	佐土原町(上田島)にて高病原性鳥インフルエンザと疑われる事例(県内1例目)発生 県、10km以内移動制限自粛を要請、消毒ポイント設置箇所を関係機関と協議 新富町鳥インフルエンザ対策室設置	1.21	新富町鳥インフルエンザ対策室設置 情報収集を指示
1.22	消毒ポイント開設、車両消毒開始(一ツ瀬橋、柳瀬橋、瀬口橋) 対策会議を招集 清浄性確認検査開始 町施設に消毒マット設置・自主的に消毒ポイント増設	1.22	新富町鳥インフルエンザ対策本部設置 消毒などの発生防止対策を指示
1.23	新富町(北原牧)にて高病原性鳥インフルエンザと疑われる事例発生(県内2例目)検査の結果、陽性 対象養鶏団地内の約40万羽については全羽殺処分を決定 現地本部の設置および埋却地の掘削、殺処分(1,981羽)を開始 交通規制と消毒を24時間体制に 県が対策本部を役場内に設置 県が自衛隊に災害派遣要請	1.23	全体状況の把握と各対策班を指揮 県現地対策本部と意見交換 町議会と区長会に説明 地元建設業者に埋却地掘削・埋め戻し作業への協力依頼
1.24	殺処分作業(24,965羽) 自衛隊災害派遣隊現地入り 作業準備	1.24	農林水産省松木政務官来庁対応 河野知事来庁対応 養鶏団地農家説明会
1.25	殺処分作業(98,109羽) 自衛隊災害派遣部隊、作業開始	1.25	農場・埋却地等現状調査
1.26	殺処分作業(154,657羽) 鶏舎の清掃、鶏糞処分を開始	1.26	新田原基地司令、第43普通科連隊長とともに災害派遣自衛隊員激励 社民党 福島党首ほか各党対策本部来庁対応
1.27	殺処分作業完了(121,232羽) 散水車による消毒開始	1.31	議会と代表区長に経過説明
1.28	鶏舎の防疫作業開始	2. 2	地元地区地権者・耕作者説明会
1.30	鶏舎内の鶏糞処理終了	2. 7	新田原基地司令へお礼
1.31	堆肥の運び出しおよび処理を開始	2. 9	陸上自衛隊第8師団長(熊本)お礼
2. 2	すべての防疫作業を完了	2.11	衆議院農林水産委員会へ支援要望
2. 3	自衛隊災害派遣部隊撤収	2.14	陸上自衛隊第43普通科連隊長(都城)へお礼
2.24	町の移動制限区域午前0時に解除	2.20	民主党県選出国會議員へ支援要望
3.24	県全体の移動制限区域午前0時に解除	2.21	火箱芳文 陸上幕僚長へお礼 岩崎 茂 航空幕僚長へお礼 小川防衛省副大臣へお礼
4.14	発生農場にて新たな鶏導入開始	3. 7	牧元副知事へ支援要望
		3.11	民主党陳情要請対応本部 大久保副本部長へ支援要望 筒井農林水産副大臣へ支援要望



復興へのきざし

4月14日に発生農場に鶏が入り経営再開

自衛隊へお礼

今回、鳥インフルエンザの防疫作業において陸上自衛隊・航空自衛隊の隊員の皆様には、多大なご協力をいただきました。

町を代表して土屋町長が、陸上自衛隊幕僚長火箱芳文氏、航空自衛隊幕僚長 岩崎茂氏を直接訪ね感謝の意を伝えました。



陸上幕僚長
火箱 芳文

航空幕僚長
岩崎 茂